

「みんなでじゃなくて ひとりひとりが 自分を見なおすための 人権学習」

菊陽中学校 3年 義経 恋々奈

わたしのお母さんは、か  
いごしです。一人で生活で  
きないおじいちゃん、おば  
あちゃんたちのためにお手  
つだいをするしごとです。  
ごはんを作ったりごはん  
を食べるお手つだいをした  
り、トイレのお手つだいを  
したりお風呂に入るお手つ  
だいをしたりします。体を  
あらったり体をふいたり、  
ようふくをきるお手つだいを  
したりします。せんたく  
をしておへやになおしたり  
おそうじもしたりします。  
ねる前にはみがきのお手つ  
だいをします。おじいちゃん  
おばあちゃんが生活しやす  
いようにお手つだいをする  
のがおしごとです。体がか  
たまってしまったら、人が大  
ようふくをきせるのが大へ



校内人権集会で発表しているところ

ゆたかな心を  
はぐくむ

人権のひろば

203

人権教育・啓発課 ☎096(232)2113

「お母さんのしごと」

菊陽南小学校 2年 伊藤 美心 現在3年生

んだそうです。  
お母さんは、おじいちゃん  
たちがすこしやすいう  
にお手つだいできたらと  
思っているそうです。  
「ありがとう」  
ってえ顔で言われたときが  
一番うれしいそうです。  
わたしは、お母さんのし  
ごとの話を聞いて、小さ  
かったころのことを思い出  
しました。わたしは、小さ  
いときに、お母さんのしご  
と場に行きました。そのと  
き、車いすのついているお  
じいちゃんがいました。は  
じめてあったので、こわ  
がったりお母さんの後ろに  
かくれたりないたりしてし  
まいました。お母さんの後  
ろにかくれながらついて  
行ったら、しごと場のおば

あちゃんが、  
「だいじょうぶだよ」  
と言ってくれました。やさ  
しいおばあちゃんがおかし  
をくれたけれど、ちよっと  
まだこわかったです。でも、  
やさしいお兄さんがかめを  
見せてくれたので、どんど  
んこわくなくなってきました。  
そのとき、お母さんが  
食べさせているところを見  
ました。すごかったです。  
お母さんのしごとの話を  
聞いて、つかれて大へんそ  
うだと思いました。家でき  
つそうだけど、お母さんが  
ねると元気になってわらう  
から、わたしはうれしい気  
もちになります。大へんそ  
うだからいろんなことを手  
つだおうと思いました。

担任から

ういさんは、給食や掃除の当番でときばき動きます。家では、  
弟や妹の世話をしたりお母さんを手伝ったり、頼られる存在で  
す。うちの人の仕事を聞き取った感想を書く中で、お母さんが  
働いている姿を思い出し、お母さんの話とその時の様子がつな  
がりました。仕事場でも家でもがんばっているお母さんが重  
なり、ういさんでもできることを続けています。

「3月3日」心に刻みたい人権宣言

文責：町地域人権教育指導員 村上 秋成

「3月3日」はどんな日ですか？と尋ねられた時、思い浮かぶことはどんなことでしょうか。私には、幼いころから病院に通い、治療しなければならなかった病気のつながりが見える「耳の日」が浮かびます。他には「桃の節句」「ひな祭り」などでしょうか。

町の中学生在が使用する社会科教科書には、

【差別からの解放を求めて】部落差別に苦しむ被差別部落の人々も、政府にたよらず、自力で人間としての平等を勝ち取り、差別からの解放を目指す運動(部落解放運動)を進めました。1922年に京都で全国水平社が結成され、運動は全国に広がっていきました。

との記述があります。結成時の宣言(「水平社宣言」)には、「人間はいたわるものではなく、尊敬すべきものだ」と書かれています。この宣言は、基本的人権の尊重をうたった日本国憲法より20年前に出された、日本で初の人権宣言といわれています。この宣言がだされたのが、今からおよそ100年前の1922年「3月3日」でした。「運動は全国に広がっていきました」とありますが、熊本へ、菊陽町へも広がってきました。1923年9月25日付、九州新聞には「津田水平社創立演説大会大津町寶座で開催」の記事があります。津田水平社は菊池東部水平社とも言われています。水平社宣言の理念と水平社の差別をなくす運動は、被差別マイノリティ(少数者)の自覚と運動に勇気と刺激をもたらしました。また、国内外の人権の確立や民主主義の発展にもかかわっています。差別をなくし、人間を尊敬しあえる社会づくりを高らかに宣言した日として「3月3日」を刻みたいと思います。



水平社宣言記念碑

花立区自治会「餅つき・炊き出し行事」

1月25日、花立公民館で花立区餅つき・炊き出し行事が行われました。この行事は、若い世代への餅つき継承や災害時における炊き出し技術の向上、住民の親睦を図ることを目的に、毎年実施されています。

当日は、たくさん子どもたちが、自治会役員のを借りながら重い杵を持ち上げて一生懸命にお餅をついていました。また、自治会役員や有志がお餅と焼きそばを振る舞いました。笑みを浮かべて美味しそうに食べる親子の姿や参加者が和やかに話す姿が見られ、寒空の下、温かな雰囲気に会場は包まれていました。



講座・教室のお知らせ版

中央公民館や各センター、総合体育館などで開催する講座・教室をお知らせします。詳しくは各問い合せ先へご連絡ください。



専用フォームからの申し込みはこちら

講座	日時	場所	対象者	費用	申込方法 申込期限	問い合わせ先 備考
第1回 貯筋運動教室	5月13日(水)～6月10日(水) 毎週(水) 全5回 ①午前9時30分～10時30分 ②午前11時～正午	総合体育館 スタジオ	町内在住 または 在勤の人	1,110円 (保険料込み)	専用フォーム または電話 (平日のみ)で 申し込む	総合体育館 ☎096(288)7885
第43期 「熊本のいのちの電話」 電話相談員 養成講座	①前期 5月12日(火)～ 9月15日(予定) ②後期 9月29日(火)～ 令和9年3月16日(火) (予定) 毎週(火) 午後6時30分～8時30分	熊本 YMCA 本館	20～70歳 ※町内在住を 問わない	①前期 1万円 ②後期 1万2千円 (学割有)	電話で申し込む 3月5日(水)～ 4月22日(水) 定員40人 (先着順)	熊本のいのちの電話 事務局 ☎096(354)4343 (平日午前10時～ 午後5時)

南部町民センターではこんなことやっています

☎096(292)3200

南部町民センターでは、菊陽南小学校と連携して、3・4年生を対象に「子どもガイド養成講座」を年5回実施しています。講師の先生は、菊陽町文化財ボランティアガイドの会の松永さんと、有働さんです。

3年生は、主に井手を掘って馬場桶堰から水を取り入れる話、4年生は、鼻ぐり井手の仕組みや清正公の話など、写真やパワーポイントを見ながら学習して、講座の最終日には、実際に現地に行き説明を聞きます。この講座を通して、鼻ぐり井手への理解を深め、5・6年生になった時に子どもガイドとして、鼻ぐり井手祭などで、参加者に施設の案内や説明を行います。昨年は、「鼻ぐり井手物語」という絵本作りに挑戦して、記念に残るすばらしい絵本が完成しました。

講座の様子



パワーポイントを使って説明する有働さん